



第8章 チャート・ランキング



kabu STATION

本章では、kabuステーションのチャート機能、ランキングについて、お客さまからお問い合わせの多い質問を元にご案内いたします。



第8章 チャート機能 目次

目次

■チャートの基本操作

◇ チャートの表示方法	P3
◇ 銘柄登録方法	P4
◇ チャートの設定方法	P5
◇ ツールバーの設定方法	P6
◇ ツールバーの各種アイコン	P7
◇ グラフィック・スクロールバー	P13
◇ 色の変更方法	P14
◇ 描画エリア調節ライン	P16
◇ マネービューとの連動	P17
◇ テクニカル分析の表示方法	P18
◇ チャート種別の選択方法	P19
◇ 足種別の選択方法	P20
◇ チャートデータの保存方法	P21

■チャートからの発注

◇ チャートからの発注	P22
-------------	-----

■複製・表示枚数

◇ チャートの複製・表示数	P23
---------------	-----

■印刷

◇ チャートの印刷方法	P24
-------------	-----

■ランキング

◇ マルチランキング	P25
------------	-----

◇ 詳細ランキング	P26
-----------	-----

■無料利用条件/月額利用料金

	P27
--	-----

■ご注意事項

	P28
--	-----

◇チャートの表示方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ チャートの表示方法：

メニューバーの「投資情報」→チャートをクリックすると表示されます。また、銘柄登録リストやニュース、個別銘柄等の各ウィンドウで右クリック→チャートを選択することでも表示されます。

●チャート表示(メニューバー「投資情報」→「チャート」)



◇銘柄登録方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ 銘柄登録方法：

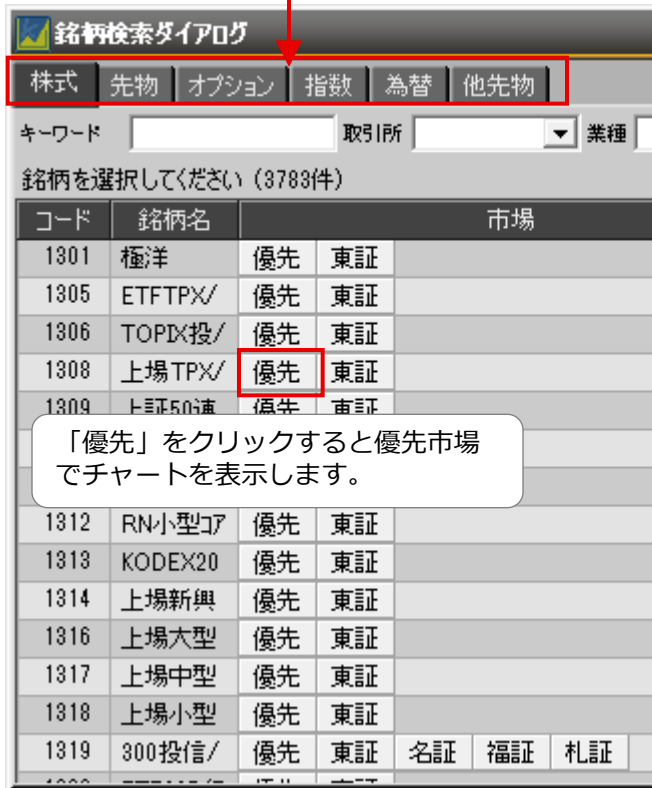
株式、先物、オプション、指数、為替のチャートを表示することができます。
 (先物OP口座、FX口座を開設していなくても表示することができます。)

●チャート表示(メニューバー「投資情報」→「チャート」)

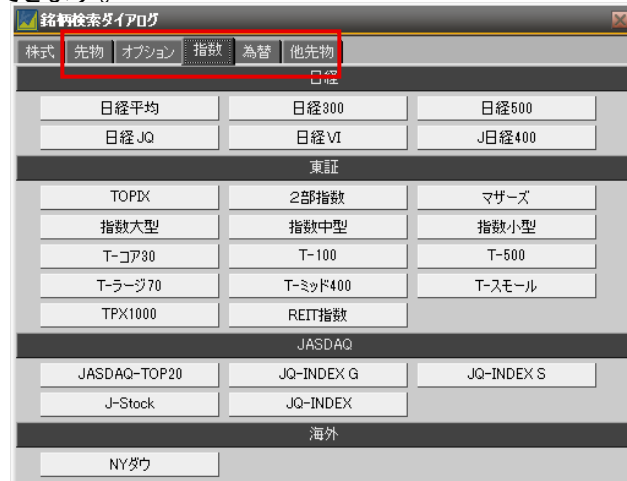


NYダウ指数は、先物OP口座を未開設のお客さまは終値のみの表示になります。

先物OP口座開設済のお客さまはリアルタイムでの表示になります。なお、日経VI指数は全てのお客様にリアルタイムデータをご提供いたします。



先物OP口座、FX口座を開設していなくても、先物、オプション、指数、為替(シストレFX)チャートを表示することができます。



◇チャートの設定方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ チャートの設定方法：

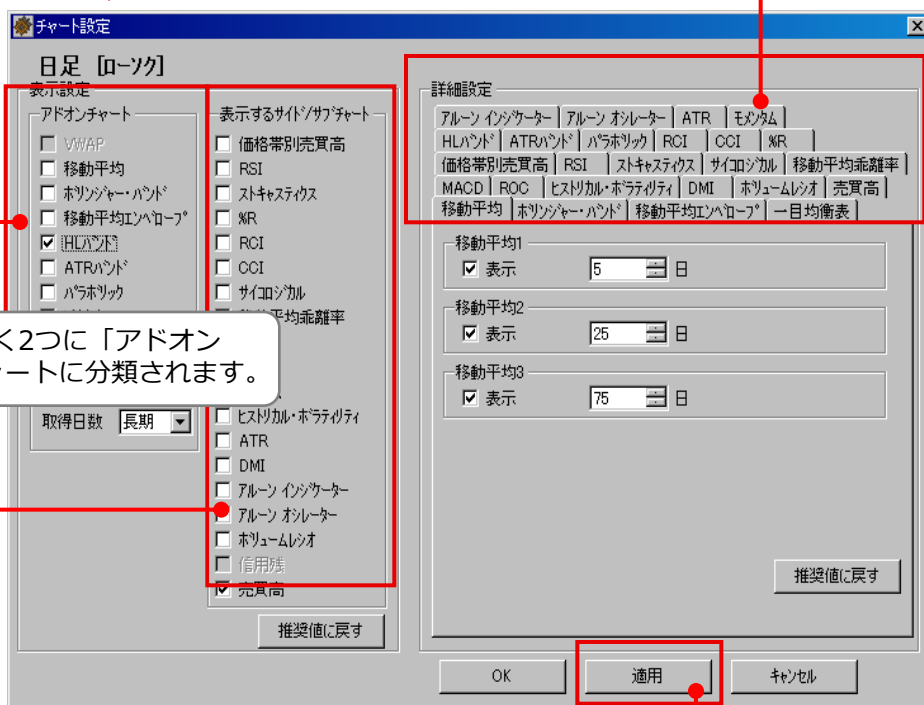
チャート上で右クリックし「チャート設定」をクリックすると、詳細設定画面が起動します。

kabuステーションでは8種類のアドオンチャート、19種類のサブチャートを設定することができます。

●チャート設定画面



「詳細設定」では左のアドオンチャートおよびサイド/サブチャートで選択したテクニカル指標における各種パラメーターの基準を細かく設定可能です。



テクニカル指標の分類は、大きく2つに「アドオンチャート」と「サイド/サブチャート」に分類されます。

チャート設定画面の入力完了後は「適用」をクリック
↓
設定した内容がチャート上に反映されます。

◇ツールバーの設定方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ ツールバー：

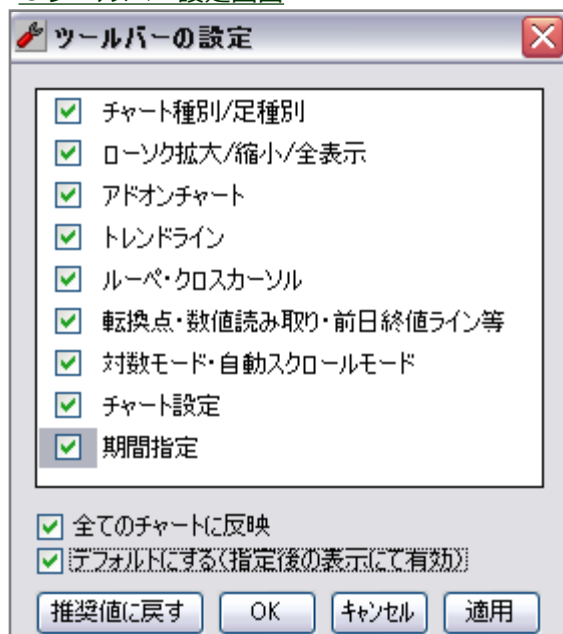
アドオンチャートやツールなど各種アイコンを表示させておくことで、すばやいチャート設定、カスタマイズが可能です。

●チャート設定の表示方法



① チャート上で右クリックをし、「ツールバー設定」を選びます。

●ツールバー設定画面



② チャートのツールバーに表示したい項目にチェックを入れ、「適用」をクリック



設定した内容がチャート上に反映されます。

③ メニューがこのような変ります。それぞれメニューにマウスのカーソルをあてると、ツールチップで説明が表示されます。



◇ ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ 各種アイコン：

チャート上で右クリックをすることで各項目の設定やカスタマイズが可能ですが、アイコンとしてツールバーに表示しておくことによって視覚的に分かりやすくなります。



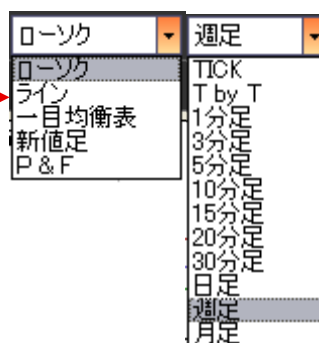
● アドオンチャート

	VWAP
	移動平均
	ボリンジャーバンド
	移動平均エンベロープ
	HLバンド
	ATRバンド
	パラボリック
	ピボット

● 設定

	チャート設定	アドオンチャート、サイド/サブチャートを設定します。
	ツールバー設定	チャート上に表示するアイコンを設定します。
	表示色設定	チャートの背景やローソク、ライン等の色を設定します。

<http://kabu.com/investment/guide/technical/default.html>



● ツール

	ループ		不連続要因発生マーク
	クロスカーソル		トレンドライン描画
	転換点		トレンドライン移動
	数値読取り		トレンドライン削除
	前日終値ライン		ローソク拡大・縮小
	現値ラベル		全データ表示

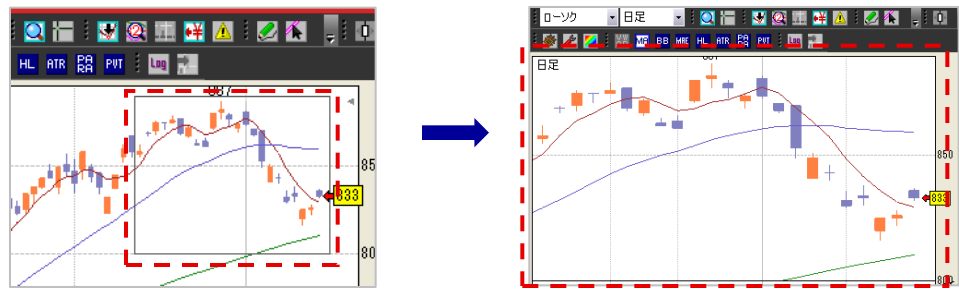
◇ ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

● ルーペ



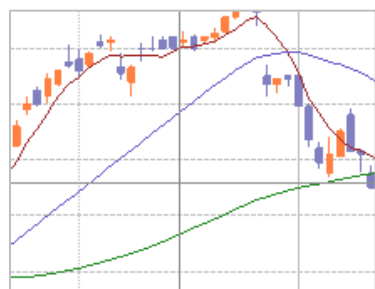
ルーペボタンをクリックした後、チャートの任意の部分をマウスで囲うと、囲った範囲の大きさを表示(拡大)することができます。もう一度ルーペボタンをクリックすると解除されます。



● クロスカーソル



クロスカーソルボタンをクリックすると、チャートにマウスをあわせた際のカーソル形状が十字に変化します。上下線がカーソルを通常のものに戻す場合は、再度クロスカーソルを選んで下さい。(または、ボタンを再度クリックする)



● 転換点



転換点マークをクリックすると、チャート上に転換点(時刻/日付とその時点の値)を表示します。もう一度転換点マークをクリックすると解除されます。

kabuステーションでは、転換点を判断する足の「前後10本」を対象にしています。例えば、1分足の場合、前後10分が対象期間になり、日足では前後10営業日分が対象期間になります。転換点の算出方法の詳細は次ページにてご説明します。



◇ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

●転換点の算出方法

各足を転換点かどうか判定していくには、下記1～3を前提基準にして判定します。

※期間(n)=10で固定

【前提基準】

- 1: 調査対象の足(x)と過去指定期間(n)の足の中で・最高値・最安値を調べる。
n=10のため(x)を含めると11個の足が比較対象となる。
- 2: (x)と過去(n)・未来指定期間分(n1)の中で・最高値・最安値を調べる。
n=10、n1=10のため(x)を含めると21個の足が比較対象となる。
- 3: 直近の転換点を確認する。

これらの基準を元に以下のロジックにより判定を行います。

【判定方法】

●2より、調査対象の足(x)が過去(n)、未来(n1)の中で最高値の場合、「天」の転換点になり得るかどうかを判定します。

判定基準として、(x)が

- ①. 直近の転換点が底: 直近の転換点のリバーサル値を超えている → **天としての新しい転換点として追加。**
- ②. 直近の転換点が天: 直近の転換点の値を超えている → **直近の天を更新した新しい天として直近の転換点を上書きする。**

●2よりその足が過去未来の中での最安値の場合、「底」の転換点になり得るかどうかを判定します。

判定基準として、(x)が

- ①. 直近の転換点が天: 直近の転換点のリバーサル値を下回っている → **底としての新しい転換点として追加。**
- ②. 直近の転換点が底: 直近の転換点の値を下回っている → **直近の底を更新した新しい底として直近の転換点を上書きする。**

【リバーサル値の算出式】

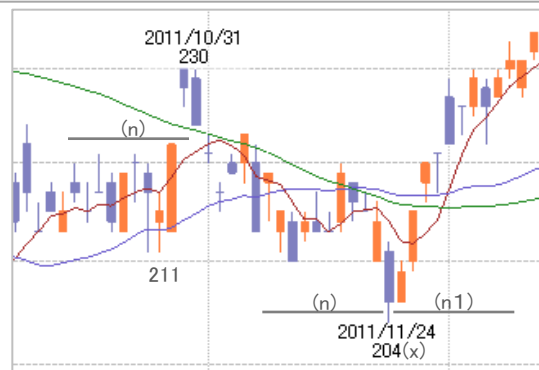
リバーサル値(転換点が底) = 転換点の値 + ((n)の最高値 - 転換点の値) × 0.5

リバーサル値(転換点が天) = 転換点の値 + ((n)の最安値 - 転換点の値) × 0.5

2011/11/24が底(x)かどうか判定する場合、直近の転換点(天)2011/10/31のリバーサル値との比較が必要となります。リバーサル値の算出方法は、以下の計算方法で算出します。

転換点の値[2011/10/31の高値: 230]
+ (最安値[2011/10/31 + 過去10日の最安値: 211] (*)
- 転換点の値[2011/10/31の高値: 230]) = 220.5

2011/11/24の安値: (x)204は、リバーサル値220.5よりも下回っているため転換点(底)と判定OK。



補足: 計算の一番最初には直近の転換点が存在しないため、その足が最高値であるならば無条件に天として扱います。最安値であれば底として扱います。また既刊分の最高値・最安値の判定時に同じ値が複数存在した場合、より直近の足を最高値もしくは最安値として取り扱うようにしています。

(*)ここで直近の期間分については転換点評価対象としていないのは、直近を算出対象に含めることにより現値が転換点になる等の不都合を防止するためです。

→ 転換点の判定ロジックはあくまでも過去分・未来分・直近の転換点を元に、最もそれらしい位置に転換点を定めるべきものです。もし直近のものを判定対象としてしまうと、上昇トレンドの時は未来分がないため、常に現値が天となるようなことが起こってしまいます。転換点はあくまで上昇した後に適当に下降したデータがないと天として判定するには不適切となります。

【リバーサル値とは】

直前の転換点よりも一定値以上反転した(揺り返した)場合に、新しい転換点として判定するための基準です。例えば底204円の転換点からそのまま上昇した後の天250円の転換点があったとして、そのあとに248円が(n)(n1)での最安値となったとしても、その様な僅かな下落では転換点として認識するには不適切です。現在のロジックではある転換点があった場合、その転換点に対しての過去分の最高値・最安値をもとにリバーサル値が決まります。天の転換点があった場合、その転換点の過去期間分の最安値を元に、転換点の値 + (最安値 - 転換点の値) × 0.5がリバーサル値となります。意味合いとしてはその転換点の過去期間分の最安値との差分の半分よりも下回ったのならば十分に反転した(揺り返した)と判断するものです。

◇ ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

● 数値読取り



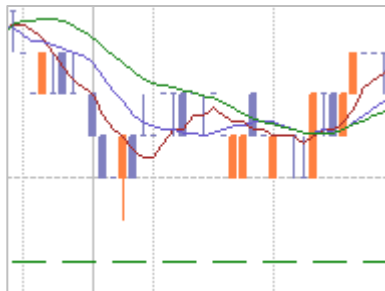
数値読取りボタンをクリックすると、下図のように読み取りラベルが表示されます。
数値表示したい部分にカーソルを合わせると、ラベルにそのポイントの値が表示されます。
また、ラベルは自由に移動することができます。



● 前日終値ライン



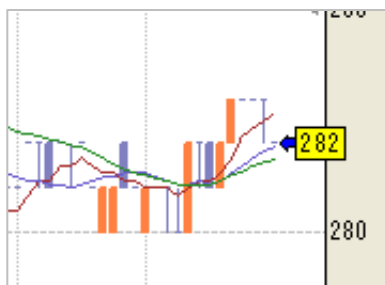
前日終値ラインボタンをクリックすると下図のように前日終値を点線で表示します。



● 現在値ラベル



現在値ラベルボタンをクリックすると、下図のように現値ラベルを表示し、価格が変わる毎に追従します。



◇ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

●不連続要因マーク



不連続要因の種類を示す記号をメインチャート上の発生日（週／月）に表示します。表示される記号は、以下の通りです。

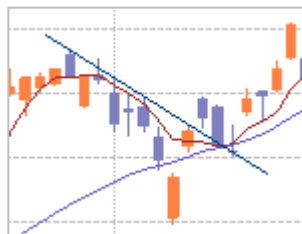
▲ 株式分割	■ 権利預かり証落ち
▼ 株式併合・減資を伴う株式併合	□ 増資権利落ち
◇ 無償割当	● 限月交代



●トレンドライン描画



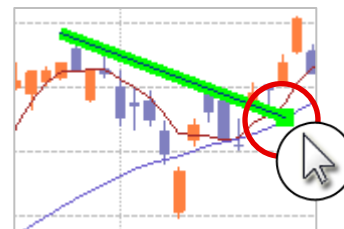
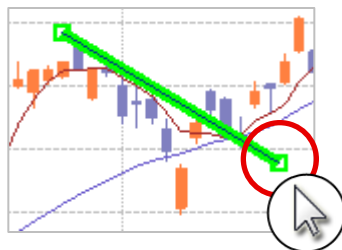
トレンドライン描画ボタンをクリックし、カーソルが鉛筆の形に変わるのを確認した後、左クリックしながらマウスを動かすと線がひけます。（下図赤丸）*描いている途中で「Shift」キーを押す、または始めから押しながらひくと、トレンドラインが水平になります。トレンドラインは足種別を跨いでメモリーすることができます。例：トレンドラインを日足で描画した後30分足に切り替えても、トレンドラインを描画されたまま表示することができます。これにより日足で引いたトレンドラインは30分足ではどう見えるか、という確認が可能です。



●トレンドライン移動



トレンドライン選択ボタンをクリックし、移動したいトレンドラインの上にカーソルをあてるとカーソルの形状が手の形に変化し、線の色は緑色になります。この状態でトレンドラインを移動させることができます。線の中央で掴むと線自体の移動が可能、線の片端を掴むと片端のみ移動が可能です。



●トレンドライン削除



トレンドライン削除ボタンをクリックし、消したいトレンドラインにマウスをあて、緑色の状態でクリックするとトレンドラインが消えます。

◇ツールバーの各種アイコン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

●ローソク拡大・縮小



ローソク拡大ボタンです。クリックする毎にローソクを拡大（表示期間は縮小）します。



ローソク縮小ボタンです。クリックする毎にローソクを縮小（表示期間は拡大）します。

●全データ表示



全データ表示ボタンです。クリックすることによりその足種別で描画が可能な全期間を表示します。（表示期間は最長まで拡大）します。

ローソク拡大・縮小、全データ表示ボタンはグラフィックススクロールバーに連動します。また、足種別毎にメモリーすることができるため、30分足で全データを表示したり、日足では直近1日を表示したりと、足毎に表示期間をメモリー、表示します。

●対数表示



対数チャートモードボタンです。チャートの縦軸（株価）の表示間隔を値幅ではなく、変動率（対数）で表示したチャートです。株価の上昇率と下落率が同じ間隔で見えるようにしています。例えば、同じ100円の値幅であっても、1000円の時は10%、500円の時は20%と、上昇の割合が2倍になります。通常のチャートでは100円の値幅が同じ間隔で表示されますが、対数チャートは1000円の時の100円は500円の時の100円に対して半分の幅で表示されるようになります。したがって、株価が高くなるほど株価の表示間隔が狭くなっていきます。

長期間かけて株価が何倍にもなってから下がっている場合など、通常のチャートではほとんど動いていないように見えますが、上昇率や下落率で考えると大きく動いていることがわかります。【値動きが少なくて魅力がない】と見えてしまう銘柄も、対数チャートでみれば【変動率で大きく動く魅力のある銘柄】として検討できることとなります。



●自動スクロールモード



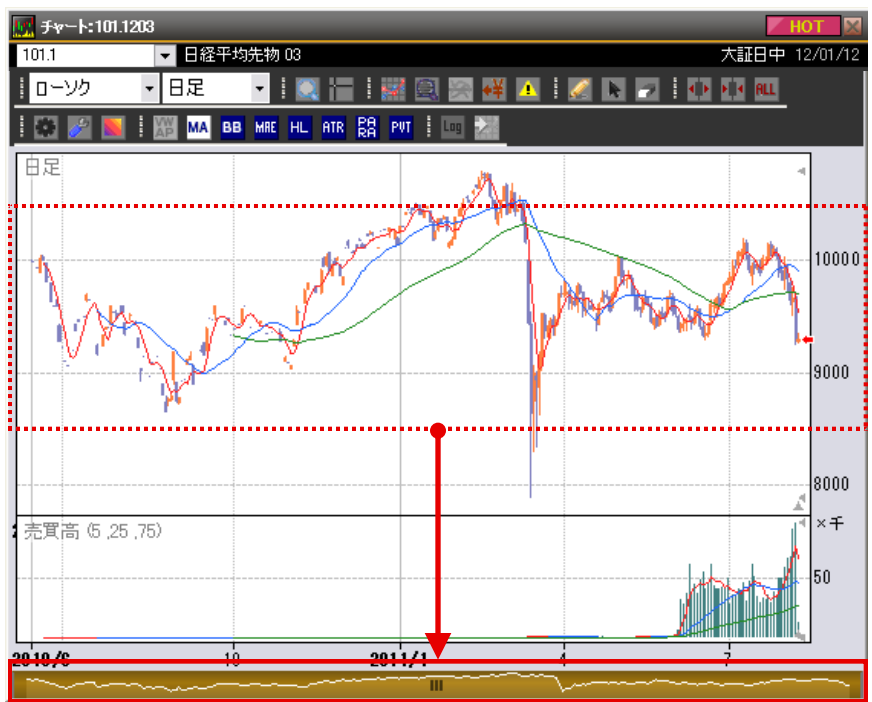
自動スクロールモードボタンです。クリックすることでローソクの形成とともにチャートがスクロールします。分足（1分足～30分足）で使用することができます。

◇グラフィック・スクロールバー

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■グラフィックスクロールバー：

グラフィックスクロールバーとは、全期間表示した際のチャートの形状を視覚的に表したフッターバーのことです。このバーを調節することで表示期間を変更できます。



チャート全体の形状を線で表し、全体のどの期間をチャート表示させているのかを把握しやすいのが特徴です。



茶色の部分がチャート描画されているということです。クリックしながら右方向へスライドさせると...



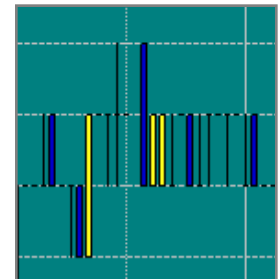
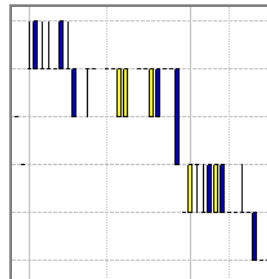
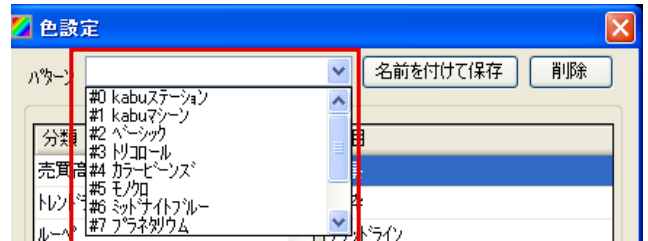
表示期間が短くなり、チャートが拡大されました。

◇色の変更方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

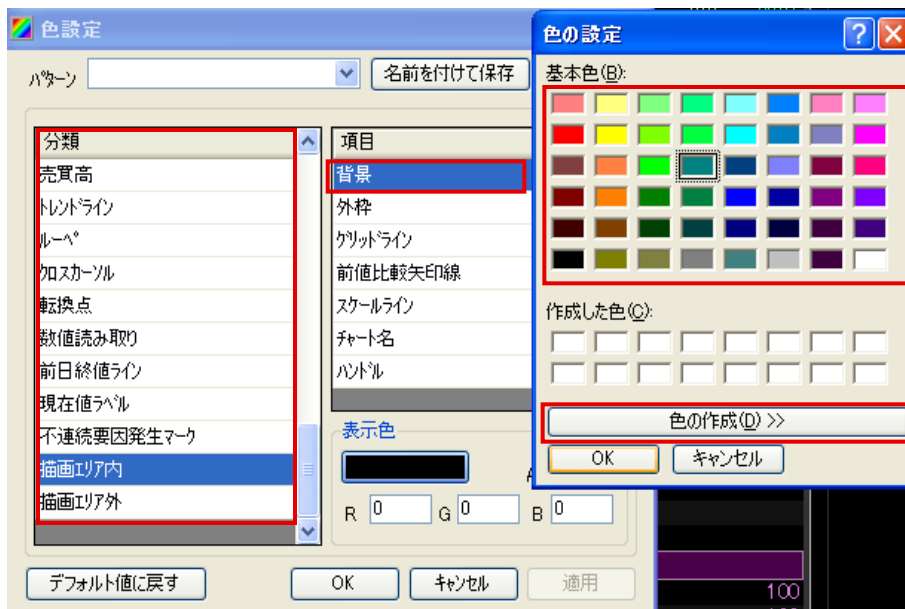
■色の変更方法：

チャートには色のテンプレートを11種類ご用意しております。黒背景の「kabuステーション」、白背景の「kabuマシン」、柔らかな色使いの「トリコロール」等に変更できます。



■詳細な色のカスタマイズ方法：

前述のテンプレートのみではなく、ラインの色のみを変更したり、転換点や終値ライン、信用残やMACD等の色について、お客様のお好みに応じてさらに細かい色設定を行うことができます。



「分類」の中にある項目は全てお好みの色にカスタマイズすることができます。

「色の作成」でさらに微調整を行うことができます。

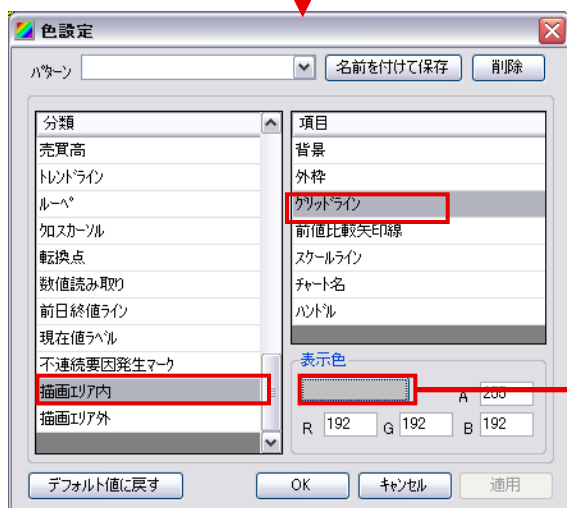
◇色の変更方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

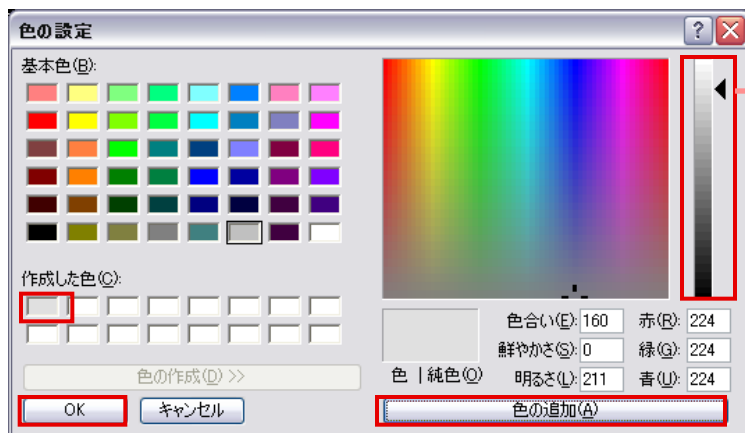


例えば、グリッドラインだけもう少し薄くしたい場合は、前ページ同様、チャート上で右クリックをし、「表示色設定」の、【分類】の中から、「描画エリア内」を選択します。

続いて【項目】から「グリッドライン」を選択し、「表示色」を選択すると、

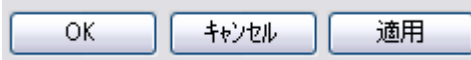


上記のウィンドウが表示されますので、ここで「色の作成」をクリック



このスライダーで色を薄く設定し、「色の追加」をクリックします。

すると「作成した色」に新しい色として登録されますので、そのままOKをクリック、表示色設定ウィンドウに戻り、



「適用」→「OK」とクリックし設定完了です。



チャートのグリッドラインが少し薄くなりました。

◇描画エリア調節ライン

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■描画エリア調節ライン：

チャートの描画エリアを拡大・縮小するライン機能のことです。一目均衡表の未来部分を確認したい時、転換点が見えづらい時などに便利です。



◇マネービューとの連動

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

マネービューとの連動：

マネービューから為替チャートを起動することができます。また、各クロスレートをダブルクリックすることでHOTキーを点灯しているチャート等ウィンドウと連動することもできます。

●マネービュー

通貨	BID	SP	ASK	前日比	時刻
USD/JPY	106.317	0.5	106.360	0.000	10:30:39
AUD/JPY	93.350	1.2	93.362	+0.211	
CHF/JPY	112.784	4.0	112.824	-0.050	

ダブルクリックでチャート等に連動

右クリックから直接起動

チャート

- リスト表示
- ボックス表示
- 上へ移動
- 下へ移動
- 一括設定
- 印刷 Ctrl+P
- スクリーンコピー

クロスレートを右クリックし、「チャート」をクリックすると、チャートが表示されます。

また、HOTキーの連携元として対応いたしました。HOTキーを点灯させた状態のチャート等を起動させている場合にクロスレートをダブルクリックすると、チャートが連動してクロスレートのチャート切替わります。

●チャート



※チャートは、BIDレートでの描画となります。

◇テクニカル分析の表示方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■テクニカル分析の表示方法：

ボリンジャーバンド等のアドオンチャート、MACDやストキャスティクス等のサブチャートは、

①ツールバーのアイコンを使用する方法と、②右クリックメニューからサイズ指定する方法があります。

●①ツールバーのアイコンを使用する方法

チェックを入れたテクニカル分析がチャートに表示されます。

詳細を設定したい項目のタブをクリックし、数値を設定します。

●②右クリックメニューからサイズ指定する方法

チャート上で右クリック！

移動平均

アドオンチャート

サブチャート

MACD

チャート上で右クリック！

◇チャート種別の選択方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■チャート種別の選択方法：

ローソク足やライン、一目均衡表等のチャート種別を下記2つの方法で選択することができます。

①ツールバーのアイコンを使用する方法と、②右クリックメニューから変更する方法があります。

●①ツールバーのアイコンを使用する方法



●②右クリックメニューからサイズ指定する方法



◇足種別の選択方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■テクニカル分析の表示方法：

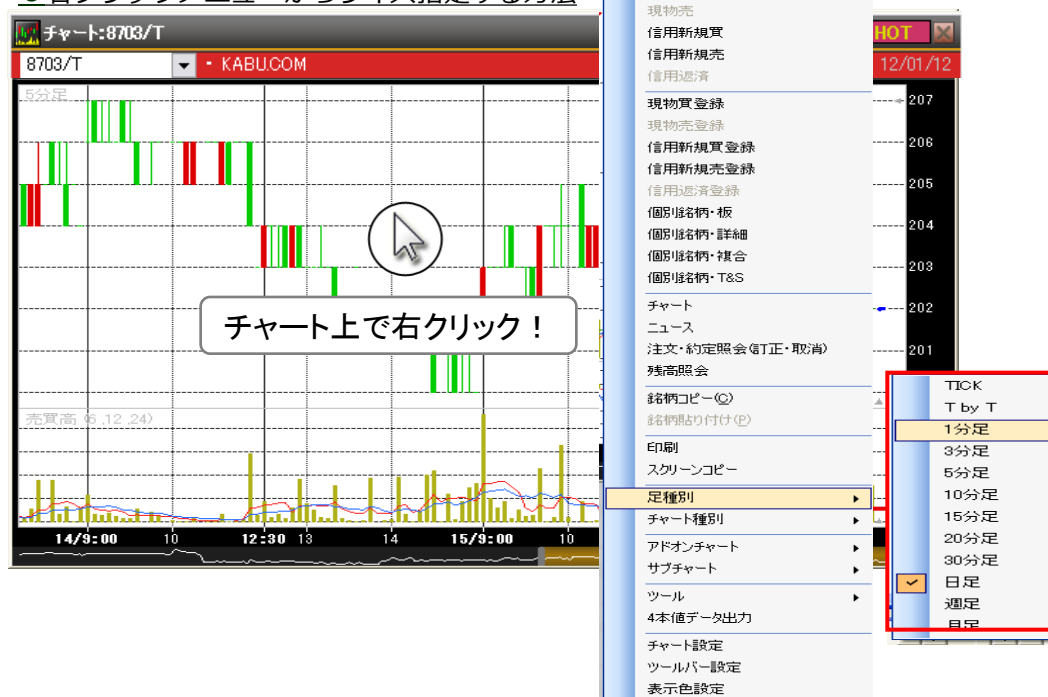
TICKや日足、5分足等の足種別を下記2つの方法で選択することができます。

①ツールバーのアイコンを使用する方法と、②右クリックメニュー-変更する方法があります。

●ツールバーのアイコンを使用する方法



●右クリックメニューからサイズ指定する方法

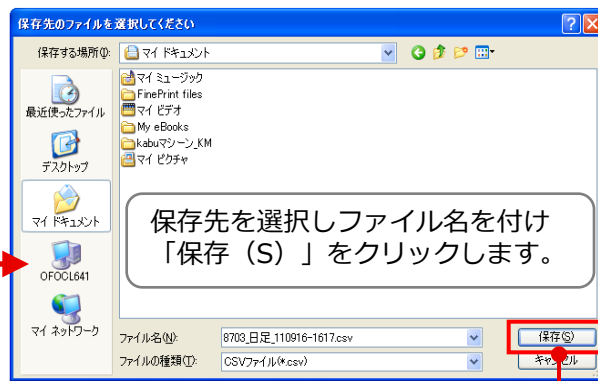


◇チャートデータの保存方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■チャートデータの保存方法：

CSVファイルで4本値データを出力することができます。
データ保存、銘柄分析等にご活用ください。



8703_1分足_110916-1615

csvで、4本値データを出力することができます。

	A				E	F
1	日付				終値	売買高
2	2011/9/15 9:00	201	203	201	203	42000
3	2011/9/15 9:01	203	203	203	203	2000
4	2011/9/15 9:03	202	202	202	202	1300
5	2011/9/15 9:04	203	203	203	203	400
6	2011/9/15 9:06	203	203	203	203	1500
7	2011/9/15 9:07	203	203	203	203	7400
8	2011/9/15 9:08	203	203	203	203	1400
9	2011/9/15 9:09	203	203	203	203	200
10	2011/9/15 9:10	203	203	203	203	2000

◇チャートからの発注

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■チャートからの発注方法：

チャートを右クリック→現物 売発注とクリックすることで、買いたい/売りたい価格を反映した状態で各種ダイアログが起動します。



現物 売発注 ダイアログ: 2702 / JQ

銘柄情報 >

2702 JQ* 株 *マ外*サト*

保護買付可能額 625,958 円 規制あり

執行条件指定 | 詳細設定

数量 100 【注文単位:100株】

執行条件 指値 2260 円 成行

【値幅制限:1,753~2,753円】

自動売買

チャート上でクリックした指値が反映された状態で現物 売発注ダイアログが起動します。

値段調整 値幅制限エラー時に指値を値幅制限内に自動調整

注文期限 本日中

特殊条件 指定しない リレ-先選択

確認 キャンセル クリア

発注パネル

フル板発注

現物 買発注

現物 売発注

現物 買登録

現物 売登録

メニューから現物 売発注をクリック

個別銘柄・詳細

個別銘柄・複合

個別銘柄・T&S

チャート

ニュース

注文・約定照会(訂正・取消)

残高照会

銘柄コピー(C)

銘柄貼り付け(P)

印刷

スクリーンコピー

足種別

チャート種別

アドオンチャート

サブチャート

ツール

4本値データ出力

チャート設定

ツールバー設定

表示色設定

◇チャートの複製機能・表示可能数

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■チャートの複製機能：

テクニカル指標等を設定したチャートを、コピーすることができます。



チャート上で右クリックし「チャート(複製)」を選択すると、以下の設定内容を引継いだ新規のチャートが表示されます。

- ・足種別
- ・チャート種別
- ・アドオンチャート
- ・サブチャート
- ・チャート設定
- ・ツールバー設定



■チャートの表示可能数：

チャートは最大で11枚まで同時表示することが可能です。

投資情報 | 口座管理 | ウィンドウ

- 銘柄登録リスト(リスト)
- 銘柄登録リスト(ボード小)
- 銘柄登録リスト(ボード大)
- 先物リスト
- 指標リスト
- 個別銘柄・板
- 個別銘柄・詳細
- 個別銘柄・複合
- 個別銘柄・T&S
- チャート**
- ニュース
- マーケットビュー
- マネービュー
- マルチランキング
- 詳細ランキング

×最大11回



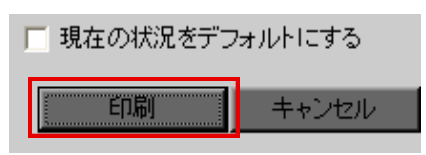
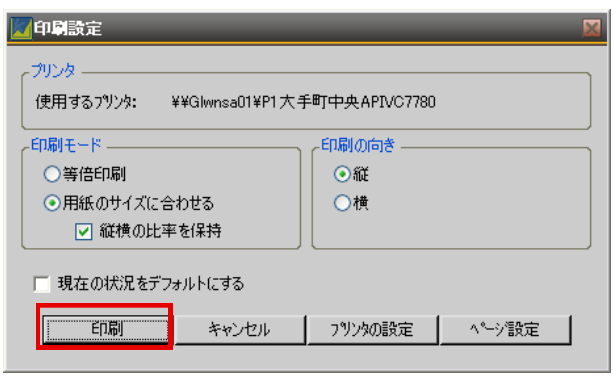
◇チャートの印刷方法

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

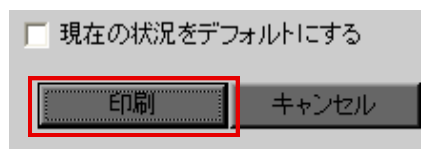
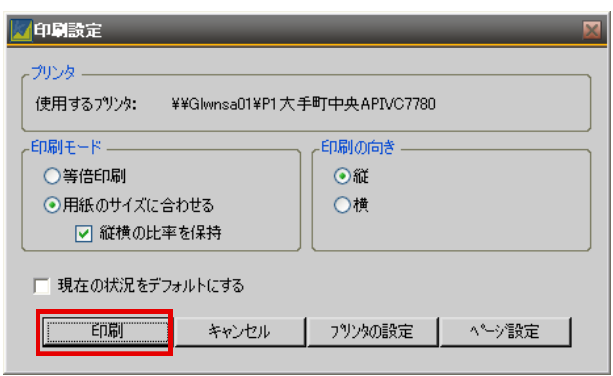
■チャートの印刷方法：

チャートには印刷機能がついています。記録や分析にお使いください。ウィンドウ毎に印刷する方法と、画面全体を印刷する方法があります。白背景で印刷をしたい場合は色設定(→P14)で背景を白に変更ください。

●ウィンドウ毎に印刷する方法



●画面全体を印刷する方法



◇マルチランキング

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ ランキング：

ランキングについては、視認性を高めるとともに、最大で8枚まで同時表示が可能にしました。

● マルチランキング（投資情報→マルチランキング）

各種項目：

- ・ 値上率
- ・ 値下率
- ・ 売買高
- ・ 売買代金
- ・ TICK回数
- ・ 売買高急増
- ・ 売買代金急増
- ・ 信用売残増
- ・ 信用売残減
- ・ 信用買残増
- ・ 信用買残減
- ・ 信用高倍率
- ・ 信用低倍率
- ・ 業種別指数

市場一括切替：

現在表示している複数項目のランキングに対して、市場区分を一括で切り替えることができます。

(例)：全市場の各ランキング（値上がり率、値下がり率、売買高、売買代金等）を一瞬でマザーズのランキングに切り替え等。

時系列ボタン：

当日、1営業日前、2営業日前、3営業日前から選択可能。過去のランキングと現在のランキングを並べて比較することも可能です。

※信用系は「当日」のみしか見られません。

ランキングのトレンドは下記のような式で算出される平均値の乖離となっています。

$(10\text{営業日中に約定がついた日の順位の合計}) \div (10\text{営業日中に約定がついた日の日数の合計}) = \text{比較元となる平均値 (四捨五入)}$

1日目50位で2日目25位でその他約定なしの場合平均順位は38位となります。

1日目30位で2日目180位でその他約定なしの場合は105位となりますが、100位より下しか表示しないので105位は「外」と表示されてます。外から100以内に入ってきたら「外↑」と表示されます。

ただし、10営業日数字がないような指定替え（東証2部→1部）とか、市場変更（大証→東証）、新規上場の場合は、下記仕様となります。

【市場替え、新規上場】：翌日からアップ数表示

【上場替え】：当日からアップ数表示

また、前日：東証2部に上場 → 当日：東証1部に上場 と指定替えした場合に選択する市場により下記挙動となります。

- ①東証全体を選択している場合：当日のランキングに表示され、平均順位も計算・表示されます
- ②東証一部を選択している場合：当日のランキングに表示されますが、平均順位は計算されず表示もなし。
- ③東証二部を選択している場合：当日のランキングに表示されません。（東証二部の他の銘柄に影響するため、内部で平均順位は計算されています）

◇詳細ランキング

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

■ ランキング:

ランキングウィンドウ自体複数枚起動することができるため、ランキングサマリーとランキング詳細を同時に表示することもできます。
 詳細ボタンをクリックすると、50位までのランキングがご覧いただけます。

列の入れ替えが可能。

タブを右クリック

市場	4枚	8枚	閉
当日			詳細
現在値	騰落率(%)		
3	50.00		
3	50.00		
14,170	26.85		
15,460	24.07		
198	22.22		

日	出力
値	騰落率(%)
1,330	-16,170
37	-318

- [業種名]: 表示しない(D)
- 再表示(E)
- すべて再表示(B)
- [業種名]: 固定する(F)
- 固定列の解除(U)
- 固定列をすべて解除(A)
- 初期状態に戻す(Q)

● 詳細ランキング (投資情報→詳細ランキング)

ウィンドウサイズを縦長に調整した例。

順位	銘柄	コード	銘柄名
1	▲ 2 7203	トヨタ	
2	▲ 13 3632	グリー	
3	▲ 15 7261	マツダ	
4	▲ 22 6502	東芝	
5	▼ 3 8306	三菱UFJ	
6	▲ 14 6501	日立	
7	▲ 15 6301	コマツ	
8	▼ 7 8316	三井住友	
9	→ 9 7267	ホンダ	
10	▼ 8 8604	野村HD	
11	▲ 16 2432	DENA	
12	▲ 16 6758	ソニー	
13	▼ 10 7751	キャノン	
14	▲ 23 6753	シャープ	
15	▲ 30 4502	武田	
16	▲ 38 9432	NTT	
17	▲ 31 9104	商船三井	
18	▼ 15 8058	三菱商	
19	▼ 10 6954	ファナック	
20	▲ 55 9101	郵船	
21	▼ 13 9984	ソフパツク	
22	▼ 17 9983	ファストリテイ	
23	▲ 58 7011	三菱重	
24	▲ 15 8411	みずほ	
25	▲ 62 8750	第一生命	
26	▼ 14 7201	日産自	
27	▲ 32 7974	任天堂	
28	▲ 22 8031	三井物	
29	▲ 64 7752	リコー	
30	▲ 87 9501	東電	
31	▲ 39 5108	フジストン	
32	▲ 75 5202	板硝子	
33	▲ 70 5020	JX	
34	▲ 38 5411	JFEHD	
35	→ 35 8901	三井不	
36	▼ 29 6752	パナソニック	
37	▲ 84 7012	川重	

詳細ランキング: TICK回数 - 全市場 - 当日

種別	順位	銘柄	コード	銘柄名	現在値	前日比	TICK回	UP
株価情報	1	▲ 2 3632	グリー	2,224	+94	16,051	3,872	
値上がり率	2	▲ 外 2175	SMS	130,400	-4,100	11,442	3,755	
値下がり率	3	▲ 21 4321	ケネディクス	16,100	+740	11,221	2,955	
売買高上位	4	→ 4 2432	DENA	2,244	+21	10,795	2,646	
売買代金	5	▲ 外 4330	セラテムテクノ	2,740	-370	8,352	2,059	
TICK回数	6	▲ 8 6301	コマツ	2,437	+41	7,042	1,322	
売買高急増	7	→ 7 6758	ソニー	1,832	+10	6,704	1,138	
売買代金急増	8	▲ 34 8750	第一生命	120,200	+3,700	5,510	838	
信用情報	9	▲ 12 8604	野村HD	404	+4	5,261	726	
	10	▲ 18 3436	SUMCO	1,005	+50	5,211	886	
	11	▲ 12 8306	三菱UFJ	439	+6	5,138	729	
	12	▲ 19 7203	トヨタ	3,580	-5	4,931	717	
信用低倍率	13	▲ 17 8062	東芝	878	+74	4,768	872	
業種別指数	20	▲ 22 4689	ヤフー	27,290	-320	4,097	720	
値上がり率	21	▼ 14 5411	JFEHD	1,825	+11	4,081	641	
値下がり率	22	▲ 45 6753	シャープ	510	+7	4,030	464	
市場	23	▲ 26 7267	ホンダ	3,275	-20	4,015	496	
日付	24	▼ 12 5912	日本橋梁	374	-17	4,011	754	
	25	▲ 35 8766	東京海上	2,283	-30	3,940	786	
	26	▲ 78 9501	東電	225	+1	3,933	649	
	27	▼ 14 8058	三菱商	2,010	+20	3,931	671	
	28	▲ 49 9427	イーアクセス	19,060	+500	3,859	798	
	29	▲ 33 5108	フジストン	2,050	-21	3,824	528	
	30	▼ 24 8031	三井物	1,419	+5	3,802	559	
	31	▼ 25 6752	パナソニック	772	+16	3,683	440	

・「売買高急増」、「売買代金急増」は、過去5営業日の平均と、当日から計算しています。
 (例)過去5営業日の平均が20株であった場合で当日が300株だったとしたら、 $(300 - 20) / 20 = (= 1400\%)$ という結果になります。

◇無料利用条件/月額利用料金

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

広範な無料利用条件により、当社でお取引いただいている多くのお客さまがkabuステーション®を無料でご利用いただけます。

利用料金/無料利用条件

kabuステーション®(本体)ご利用料は **972円(税込)/月** ですが、お客様のお取引実績や口座状況に応じて、無料でご利用いただけます。

kabuステーション® (通常プラン)

kabuステーション®(本体)は、以下のいずれかに該当する場合、**無料**でご利用いただけます。

- ・初回申込みの翌々月第1営業日まで
- ・当社全取引における約定回数が1回以上で翌月無料(sq決済は対象外)
- ・お申込日の前営業日(継続は前月末)のお預り資産100万円以上で翌月無料
- ・信用口座開設済みの場合(新たに信用口座を開設する場合は開設完了日以降の申込から無料)
- ・先物オプション、FX、取引所CFDいずれかの口座を新規開設すると翌月無料

2016年12月より、2つの新プランを導入し、さらに使いやすくなりました。



追加提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム株価予測 ・フル板表示機能 ・始値/終値予測機能 ・ストップ高安リアルプレアラート ・Finatext/ナウキャスト社ニュース ・「ソーシャルモメンタム」「リアルタイム消費財トレンド」 ・Alpaca Search for kabu.com ・xenoFlash for kabu.com ・リアルタイム資産評価 ・取引明細照会
ご利用条件	信用取引口座または、先物オプション取引口座開設済みかつ、前月当社全取引における約定回数が1回以上ある場合

追加提供サービス	Fintechプランの機能に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ・フル板表示機能 最大【5枚】表示 (フル板画面1枚、デイトレ板画面4枚) ・ワンクリック発注モード(デイトレ板画面内機能) ・リアルタイム株価予測画面 最大【2枚】表示
ご利用条件	信用プラチナプラン・ゴールドプラン適用であること、または、前月の先物・オプション取引手数料が10万円以上(税抜)である場合

●課金ルール等：

※kabuステーション®は月単位(当月第2営業日開始～翌月第1営業日終了)での契約とし、毎月第2営業日早朝に各プラン(通常プラン、Fintechプラン、Premiumプラン)の無料利用条件の判定を行います。お客さまの前月のお取引実績等から、Premiumプラン、Fintechプラン、通常プランの順に無料利用条件の適合状況の判定を実施し、当月は該当するプランが自動的にご利用いただけます。通常プランについては、無料利用条件に該当しない場合、契約は自動的に終了します。再度ご利用になりたい場合は別途お申し込む必要があります。

※kabuステーション®(通常プラン)は原則として申込時点で即時利用が可能です。Kabuステーション®(通常プラン)の無料利用条件に該当しない場合、月の途中よりお申し込みいただいた際は、お申し込み日から翌月第1営業日までの営業日数により日割りした金額をお支払いいただくことにより、ご利用が可能となります。

なお、利用可能日が20営業日未満の場合に日割りになります。

※お申込はログイン後お申込ページから簡単にお申しいただけます。お申込の際は「出金可能額」が利用料金以上あるか、各プランの無料利用条件を満たしている場合のみお申しいただけます。なお、信用取引、先物オプション取引、FX(シストレFX・店頭FX・くりっく365)・取引所CFDをお取引いただいているお客様は、保証金(証拠金)から預り金への振替が必要な場合があります。

※お支払いいただきましたご利用料金は、如何なる理由においても返還できません。



◇ご注意事項

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

<証券投資に関する手数料等およびリスクについて>

●当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」 (<https://kabu.com/company/info/escapeclause.html>) 等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

<現物株式取引に関するご注意事項>

●株式は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

●現物株式の手数料の概要は次のとおりです。

<現物株式> 最大3,690円(税抜) (お電話での注文は、自動音声応答: 100円(税抜)、オペレーター経由: 2,000円(税抜) が別途加算)

●ETF(上場投資信託)、ETN(上場投資証券)、REIT(上場不動産投資信託)は、元本や利益(分配金を含む)を保証するものではありません。ETF、ETNは銘柄自身の価格の変動および連動対象となっている指数や指標の変動等、REITは銘柄自身の価格の変動および運用する不動産の価格や収益力の変動等の他、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

●その他、ETF、ETN、REITの概要やリスク等については、日本取引所グループのWEBサイトをご覧ください。

(ETF) <https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/index.html>

(ETN) <https://www.jpx.co.jp/equities/products/etns/index.html>

(REIT) <https://www.jpx.co.jp/equities/products/reits/index.html>

<信用取引に関するご注意事項>

●信用取引の対象となる株式(ETF、ETN、REIT等を含む)は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

●信用取引をおこなうには、売買代金の30%以上かつ30万円以上の保証金の差し入れが必要であり、保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。信用取引は、差し入れた保証金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が差し入れた保証金を上回る(元本超過損)おそれがあります。

●信用取引に際して、売買手数料・信用管理費・名義書換料をお支払いいただくほか、買付けの場合は買付代金に対する金利を、売付の場合は売付株式等に対する貸株料及び逆日歩(品賃料)をお支払いいただきます。信用取引の手数料等の概要は次のとおりです。

<手数料> 最大1,200円(税抜) <買方金利> 最大3.09% <売方金利> 0% <貸株料> 最大3.9%

●信用取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできず、所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されますが、上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限が前倒しになる場合があります。信用取引の委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更する場合があります。委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更することがあります。また、上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限(期日)が前倒しになる場合があります。詳細は、当社ホームページの信用取引ルールのご案内ページ (<https://kabu.com/item/shinyo/rule.html>) をご確認ください。

●制度信用取引と一般信用取引(長期、売短®)では、返済の期限等について異なる制約があります。合併や株式分割等の事象が発生した場合や、株式の調達が困難となった場合等に返済期限を設定することがあります。一般信用取引(長期、売短®)の建玉について株式の調達が困難となった場合等は、一定の催告期間を設定した上で、当社が定める期日に変更する場合がありますが、緊急かつやむを得ない事由がある場合には、催告期間を置かず期日を変更します。

●一般信用「売」はすべての上場銘柄に対応しているものではありません。一般信用(長期、売短®)売建可能銘柄は日々、貸付有価証券の調達状況等により銘柄及び株数に変更がございます。最新の銘柄情報は、当社ホームページの「一般信用(長期、売短®)売建可能銘柄一覧」をご参照ください。

●権利落日の取引所基準価格は、前日終値から一株当たりの予想配当額分だけ理論上値下がりします。

●権利付最終日の大引け時点で現物買いおよび信用売建玉をしている場合、現物については税金が差し引かれた配当を受け取り(配当金の約80%)、一般信用売建玉については配当調整金をお支払い(配当金の100%)いただきます。つきましては、配当金の約20%の差額分をご負担いただくこととなりますので、予めご注意ください。



◇ご注意事項

© 2001 kabu.com Securities Co., Ltd.

<指数先物取引・指数オプション取引に関するご注意事項>

- 指数先物取引および指数オプション取引は、元本や利益を保証するものではありません。指数先物取引および指数オプション取引は、対象指数の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- 指数先物取引および指数オプション取引をおこなうには、「SPAN®証拠金額×当社が定める掛目ーネット・オプション価値の総額」で計算される証拠金の差し入れが必要です。なお、証拠金の額は、金融商品取引所等の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなく、明記することができません。
- 指数先物取引では、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）おそれがあります。
- 指数先物取引および指数オプション取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできません。所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されます。
- 指数オプションの買方は、期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、投資金額の全額を失います。また、指数オプションの売方は、予測に反する方向へ大きく向かった場合、損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）おそれがあり、また損失額が限定されていません。
- 日経平均VI先物は、日経平均株価が急落時に価格が急上昇する特徴があることから、日経平均VI先物の売り方はその損失額が株価指数先物取引と比較して非常に大きくなるおそれがあります。
- 指数先物取引および指数オプション取引の手数料の概要は以下のとおりです。

<指数先物取引> 1枚あたり最大940円（税抜）

<指数オプション取引> 約定金額×0.2%（最低手数料200円）（税抜）

● 掲載情報は2018年1月31日現在のもので、詳細及び最新情報は当社ホームページ（<https://kabu.com/>）にてご確認ください。

● お問い合わせ・ご相談・苦情等

お客様サポートセンター フリーコール 0120-390-390

※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは 03-6688-8888（※通話料は有料になります）

● 苦情について当社以外の窓口

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター フリーダイヤル 0120-64-5005

【金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号】

【銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号】

【加入協会：日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会】